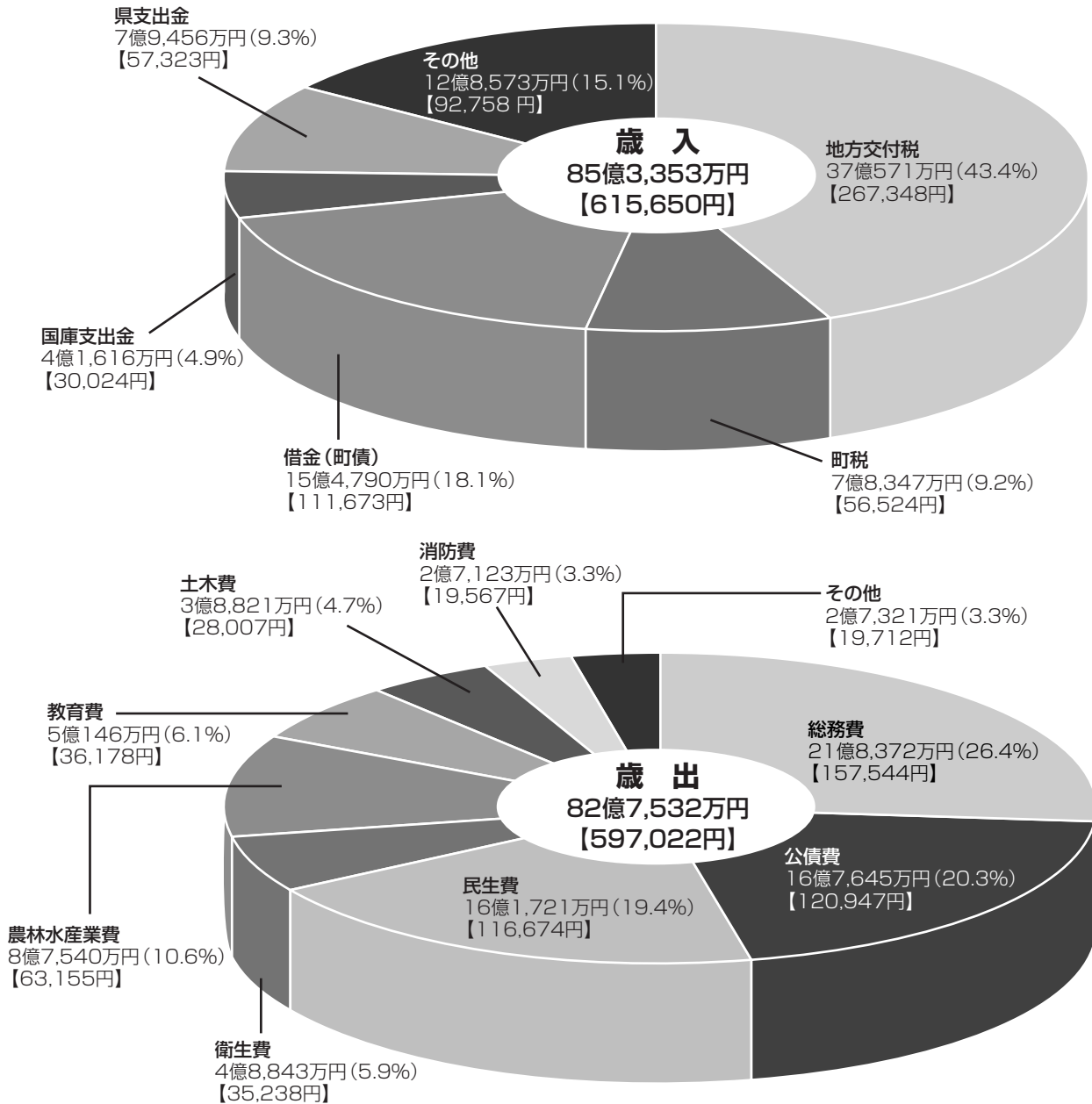


平成18年度 黒潮町歳入歳出決算状況

※ ()内の数字は構成比

※ 【 】内の数字は町民1人当たりの額(平成19年3月31日現在の住民基本台帳人口13,861人で割った数字)



一般会計決算

平成18年度の歳入総額は85億3,353万円、歳出総額は82億7,532万円、前年度比較で歳入歳出ともに11・7%増大となりました。歳入歳出差引は2億5,821万円、翌年度へ繰り越すべき財源5,821万円を除く実質収支は2億円の黒字となりました。

歳入歳出決算額の内訳は上のグラフのとおりです。

歳入では地方交付税が最も多く、ついで町債、町税、県支出金などの順です。

一方、歳出は総務費、公債費、民生費が前年度と同様に大きく、歳出総額に占める割合は66・1%となっています。

平成18年度は新町基本方針初年度として、高規格道路関連事業のまちづくり交付金事業・町道馬荷・成又熊野浦線などの道路整備のほか、農林水産業では、キュウリ選果機整備・漁港整備・高性能林業機械の購入、特産品開発奨励金の交付などの産業振興に取り組みました。

また、放課後子ども教室の推進や、家具転倒防止対策補

平成18年度 各会計決算額

(単位：億円)

		歳入	歳出
一般会計		85.34	82.75
特別会計	住宅新築資金等貸付事業	0.57	0.30
	宮川奨学資金	0.49	0.49
	給与等集中処理	18.22	18.22
	国民健康保険事業	18.53	18.03
	国民健康保険直診	0.88	0.87
	老人保健事業	20.15	20.36
	介護保険事業	11.91	11.59
	農業集落排水事業	0.28	0.28
	漁業集落排水事業	0.09	0.09
	簡易水道事業	3.20	3.20
	計	74.32	73.43
総計	159.66	156.18	

(単位：億円)

		歳入	歳出
水道事業会計		1.76	2.20
	収益的収支(消費税抜き)	1.43	1.32
	資本的収支(消費税込み)	0.33	0.88

特別・企業会計決算

助金の新設など、教育・地震対策にも力を入れてきました。

特定の事業を行うための会計で、一般会計とは別の経理を行っている特別会計は、国民健康保険事業など10会計あり、歳入総額は74億3,161万円、歳出総額は73億4,269万円で、前年度比較で歳入は3・3%、歳出は4・2%の増大となりました。

特別会計全体での歳入歳出差引額は8,892万円の赤字となりました。

このうち、農業・漁業集落排水事業では、累積赤字が大きくなり、一般会計からの赤字補てんにより運営している状況です。

また、公営企業である水道事業会計では、収益的収支において1,098万円の純利益を計上しました。

黒潮町の財政を家計に例えたら・・・

平成18年度一般会計決算額を家計に例えてみました。

町税などの町が自主的に収入できる財源と、事業に応じて交付される国県補助金などの収入との合計額が、月30万円の給料に相当するとして計算したのが下の表です。

この表で見ると、ローンの返済を除いても毎月61万7千円余りの出費があり、親からの仕送りに例えた地方交付税に依存していることが分かります。また、新たな借金よりもローン返済額の方が多くなっていますが、ローン残高が94万8千円もあり、家計を大きく圧迫していることには変わりありません。

支出を切り詰めて、新たな借金を減らすなどの取り組みが必要です。

▼黒潮町一般会計

総収入	85.3億
町税・譲与税・国県補助金など	32.0億
地方交付税	37.1億
町債(借入金)	15.5億
繰越金(前年度からの繰越金)	0.7億
総支出	82.8億
人件費(職員の給与・手当など)	18.3億
扶助費(社会保障費)	3.0億
公債費(借入金の元利償還金)	16.8億
繰出金(特別会計への支出)	6.1億
その他	38.6億
形式収支	2.6億
繰り越すべき財源(翌年度)	0.6億
実質収支	2.0億
起債残高	101.3億

▼月給30万円の世帯

総収入(月額)	798,857円
給与収入	300,000円
親からの仕送り	346,906円
借金	144,905円
前月の剰余金	7,046円
総支出(月額)	774,685円
食費	171,482円
医療費など	28,186円
ローン返済	156,939円
子どもへの仕送り	56,573円
その他住宅・医療費など	361,505円
収支(月額)	24,172円
翌月支払義務経費	5,449円
実質的な収支(月額)	18,723円
ローン残高	948,014円

この記事についてのお問い合わせ：本庁総務課 財務係 ☎43-2112(直通)